

第23回三ヶ島葎子資料室講演会

三ヶ島葎子の祈り



三ヶ島葎子（24歳）

三ヶ島葎子（みかじま よしこ）は、明治19年（1886年）、現在の三ヶ島地区で生まれた所沢ゆかりの歌人です。昭和2年（1927年）に40歳7か月で亡くなるまでに約6000首の作品を残しました。

今回の講演会では、歌人で三ヶ島葎子研究の第一人者である、秋山佐和子氏を講師にお招きし、三ヶ島葎子の40年の生涯を、日記や歌と共にたどりながら、葎子の歌の魅力や、歌に込められた「祈り」についてご講演いただきます。埼玉県女子師範学校時代、西多摩郡小宮村尋常小学校の代用教員時代、巢鴨や麻布谷町での結婚生活、与謝野晶子に師事し「青鞥」「スバル」に発表した作品の数々、病身を養いながら離れ住む子を思い「アララギ」で境涯詠を確立していった葎子の「祈り」とは何だったのか、歌の魅力を探ります。

日程変更

日時 令和4年1月28日（金） 14:00～15:30

会場 三ヶ島まちづくりセンター（三ヶ島公民館）ホール

（住所：所沢市三ヶ島5-1639-1）※会場の詳細はチラシをご確認ください

定員 申込先着100名

申込 9月1日（水）午前9時から電話で受付

申込先・問い合わせ 文化財保護課 ※祝日休 電話 04-2991-0308

講師：秋山 佐和子 氏（歌誌「玉ゆら」編集発行人）

○秋山佐和子氏プロフィール

1947年山梨県生まれ。國學院大学文学部卒。岡野弘彦に師事。1974年「人」短歌会入会。2002年「玉ゆらの会」結成、編集発行人。創刊号より「三ヶ島葎子の歌」連載中。1988年「短歌」10月号の「特集 三ヶ島葎子の世界」に一首評を書き、倉片みなみ氏・田井安曇氏・大河原惇行氏らと知り合い、研究を続ける。2003年『歌ひつくさばゆるされむかも 歌人三ヶ島葎子の生涯』刊行、第1回日本歌人クラブ評論賞受賞。2012年『「青鞥」に関わった歌人原阿佐緒と三ヶ島葎子』にて第8回平塚らいてう賞受賞。歌集に『豊旗雲』等8冊。評論書に『長夜の眠り 釈道空の一首鑑賞』。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止・内容変更をする可能性があります。

※参加者は、当日検温し、発熱等体調の悪い方は参加をご遠慮ください。

※ご参加の際は、マスクを着用の上、検温及び手指の消毒にご協力ください。

※参加者名簿は保健所等公的機関から提出の依頼があった際、提供することがあります。